

乙女滝

所在地	長野県茅野市北山	種類	滝
<写真> 			
概要 蓼科山麓に位置し、市内で最も流量が多い滝であり、水田などに水を引くために作られた用水路の一部である。 観光地としても有名な場所でもある。			
水質・水量 水量は 2.5 m ³ /秒であり、一年を通じて、冷たく、清らかである。過去からの水量変化はほとんどない。			
周辺環境 八ヶ岳中信高原国定公園内にあり、付近に流れる渋川には「おしどり隠しの滝」「大滝」「霧降りの滝」などもあり、周辺は滝めぐりのコースとして有名である。			
利用状況 水は、市内の水田など農地 314ha に農業用水として利用されている。			
水環境保全活動 大河原堰土地改良区（構成数 950 戸）が毎年、堰の清掃や草刈りなどの環境整備を行っている。			
故事来歴 約 220 年前の江戸時代中期に坂本養川（諏訪地方の現在の用水の元を作った人物）が水田などに水を引くために作った大河原堰という 12km に及ぶ用水路の一部である。坂本養川が用水路を作ったことで、水田農業がさかんになったとされている。			

アクセス

JR 中央東線「茅野駅」下車 車 20分

中央自動車道諏訪IC 車 30分

<マップ>



お問い合わせ

茅野市 市民環境部 生活環境課

〒391-8501 長野県茅野市塚原 2-6-1

TEL : 0266-72-2101 (代表)

E-mail : seikatsukankyo@city.chino.lg.jp

当該湧水等の URL